

平成 23 年度 外部点検委員会結果

点検日 (点検班)	No.	事業名 担当所属 (22 年度決算額)	今後の方向性		評価結果の理由	改善すべき内容等	
			評価結果	評価にかかる 委員数			
10 月 6 日 (2 班)	1	(子育て・男女共同) 情報誌発刊事業 男女共同参画・ 子ども家庭センター (1,411 千円)	維持	維持	3	子育て支援、男女共同参画において行政の果たすべき役割は大きく、必要な情報を市民に提供することは、「子育て世代の手助けになる」、「男女共同参画への意識が向上する」ものであるため有効と判断した。	①市民に広くアンケートを行うなどし、市民がどういった情報を求めているか等の客観的な視点に基づいて、検証を行うべきである。 ②配布先、配布方法について検討を行い、情報を広く市民に提供できる仕組みを考えてもらいたい。 ③編集委員にかかる負担が大きいにもかかわらず報償費が少ないため、印刷費を削減するなどの工夫を行い、改善を図ってもらいたい。
				拡大	2		
				縮小			
				統合・再編			
	2	介護者支援事業 長寿福祉課 (1,173 千円)	維持	維持	4	地域で介護を支えるという目的において、特に地域に根ざした認知症サポーターを養成する取組みは、高齢者社会に対応した優しい地域社会の構築につながっていくことから有効と判断した。	①「徘徊探知機システム」については、携帯電話の GPS 機能などの代替機器の普及もあることから、廃止も視野に入れて検討すべきである。 ②「介護者のつどい」については、介護者同士の情報交流の場として有効であることから、介護者に対してもっと周知を行い、参加者増を図ってもらいたい。 ③「認知症サポーターの養成」については、制度の周知を行い社会的認知度を上げる努力を行うとともに、サポーター自身の意識の向上、サポーターの活用を図ってもらいたい。
				拡大	1		
				縮小			
				統合・再編			
	3	自主防災組織 活動活性化事業 防災センター (690 千円)	維持	維持	4	自主防災組織に対する日頃からの防災意識を高める啓発事業は、組織を活性化させ、災害発生時における自主的活動に効果的であると判断した。	①既存の自主防災組織については、防災リーダー研修を通して、防災意識の底上げを図ってもらいたい。 ②企業や各種団体といった組織に対しても、防災意識の啓発を行ってほしい。
拡大				1			
縮小							
統合・再編							
10 月 13 日 (1 班)	4	地域子育て支援事業 男女共同参画・ 少子化対策室 (6,118 千円)	維持	維持	2	地域コミュニティとの連携は行政として重要な課題である。その一環である地域ぐるみの子育て支援は必要であり、そのための保護者間及び子供に関する関係団体間のネットワーク作りは有効であると判断した。	①行政として関与する立場を明確にするとともに、方向性を具体化し、その上で活動についての検証を行い、結果を事業に反映すべきである。 ②若者層や児童館、子育てサークル等と連携することで、更なるネットワーク強化を図ってもらいたい。
				拡大	2		
				縮小			
				統合・再編	1		
				廃止			

点検日 (点検班)	No.	事業名 担当所属 (22年度決算額)	今後の方向性		評価結果の理由	改善すべき内容等		
			評価結果	評価にかかる 委員数				
10月13日 (1班)	5	健診業務委託事業 保険年金課 (45,202千円)	統合・再編	維持	1	国民健康保険加入者に対し、人間ドック等の受診の機会を提供している点では事業の必要性はある。しかし、目的に対する目標設定、受診者の偏り、1人あたりの市の負担が高額となる点において、事業効果が不透明であることから、事業の内容も含め再編（見直し）を行うべきと判断した。	①費用対効果について検証を行い、目的達成のための根拠ある目標を設定した上で、ドック以外の手段の検討や、対象者を年齢や収入額で限定する等の検討も行き、よりよい手段で有効に実施すべきである。 ②現在の事業内容のまま実施するのであれば、受益者が偏ることのないよう、市民に対し広く広報を行い、きちんと受診履歴を把握した上で、受診者の決定を行うべきである。	
				拡大				
縮小								
統合・再編	4							
廃止								
10月13日 (1班)	6	健康診査事業 保健センター (219,354千円)	維持	維持	3	多くの市民にがん検診等の機会を提供することは、市民の健康の維持・増進、予防（早期発見・早期治療）の観点から必要である。未受診者や社会的弱者等への対応も出来ていることから、今後も有効性が期待出来ると判断した。	①受診日・受診場所など、見直しを行える部分は適時見直しを行い、事業の効率化を図ってほしい。	
				拡大	2			
				縮小				
				統合・再編				
				廃止				
10月17日 (1班)	7	環境展推進事業 環境課 (954千円)	統合・再編	維持		環境問題は、地球規模で考えるものであり、その中で市としても、市民レベルでの取組みの啓発や情報交換の場の提供は必要である。 しかし、対象が子供から企業まで幅広く、イベント主体の事業となっていることから事業の内容の再編（見直し）が必要であると判断した。	①環境展の事業目的の幅が広いため、市の役割も曖昧である。市の役割を明確にするとともに、民間の関与を今以上に多くし、民間への移行も含めた効果的な開催を検討すべきである。 ②環境問題に関する意識の高揚や知識の習得などの啓発は、単発的なイベントではなく年間を通し総合的に行うべきである。 ③市、企業、住民で、その年度に取り上げるべきテーマは何か、どういったことを行えば目的を達成できるのか、事業の目的に対しどういった手段が有効かといった本質論的な議論を積極的に行い、事業に反映させてほしい。	
				拡大				
				縮小				
				統合・再編	5			
				廃止				
	10月17日 (1班)	8	テレビ・ラジオ 広報事業 広報広聴課 (58,073千円)	統合・再編	維持	2	市民と行政をつなぐ大きな手段として広報事業は必要不可欠であり、そのための手段としてテレビ、特に地域に根ざした独自チャンネルを有するケーブルテレビやラジオの活用については有効である。しかし、メディアそれぞれの特性を活かした番組構成について、費用対効果を踏まえた検討を行い、広報を行う媒体の比重を見直す必要があると判断した。	①ラジオ放送については拡大を、テレビ放送に関しては、ケーブルテレビによる番組内容を充実させることで、民放によるテレビ放送について縮小を検討してほしい。 ②モニタリングによる視聴者の意見や、専門家からの意見を積極的に取り入れて、市民の求める番組となるよう充実させてほしい。 ③インターネット時代を見据え、市としての情報提供の役割として、オンデマンド放送についても検討してほしい。
					拡大			
					縮小	1		
					統合・再編	2		
					廃止			

点検日 (点検班)	No.	事業名 担当所属 (22年度決算額)	今後の方向性		評価結果の理由	改善すべき内容等	
			評価結果	評価にかかる 委員数			
10月17日 (1班)	9	有害鳥獣駆除対策事業 林業水産課 (9,804千円)	維持	維持	4	市民の生命・身体・財産を害する恐れのある鳥獣を駆除することは市として必要な事業であり、継続して実施することで事業の有効性が確保されると判断した。	①「市民生活の安全のため」を目的とする本事業と「農作物への被害防止」を目的とする類似事業の2つの取組みについて、総合的な目標を設定した上で、効果を検証しながら連携して取り組むべきである。 ②駆除を行うだけでなく、住民に対しても、鳥獣に対する正しい知識の普及や被害を防ぐためのゴミの管理の徹底などについての広報、教育を行ってほしい。
				拡大			
縮小	1						
統合・再編							
廃止							
	10	鑑賞教室事業 【演劇鑑賞事業】 学校教育課 (9,300千円) 【保育課】 (1,058千円)	維持	維持	5	演劇を鑑賞する機会の少ない子供達に対し、昭和44年度から継続して実施している事業であり、芸術・文化に触れる1つのきっかけ、チャンスの子供達に平等に与えることは、心豊かな人材を育成する教育の一環として有効と判断した。	①毎年同一の委託業者に鑑賞内容の決定を任せるとはならず、子供達や教師の現場の声、意見を次年度の取組みに活かしてほしい。そのために、市は、直接実施することも含め積極的に関わるべきである。 ②演劇鑑賞に関する感想文の活用など、子供の感性を伸ばす工夫、感性の秀でた子供に対する次の働きかけも検討してほしい。
				拡大			
				縮小			
				統合・再編			
				廃止			
10月18日 (2班)	11	消費者啓発事業 消費者センター (1,680千円)	維持	維持	4	消費者トラブルが複雑化、多様化している中、消費生活に関する正しい知識の普及、情報提供、意識啓発は今後も必要であると判断した。	①消費者まつりは、消費者意識の啓発という目的であるにもかかわらず、事業内容が物産販売や試食コーナーなど集客に偏ったものとなっていると思われるため、啓発内容の充実を図ってほしい。 ②市が主催する他のイベントや他の機関、団体と連携することで、啓発の機会を増やしてほしい。
				拡大	1		
				縮小			
				統合・再編			
				廃止			
	12	運動部活動活性化事業 保健給食課 (2,684千円)	拡大	維持		人間形成の上で、スポーツ活動は重要であり、体力のある子供達を育成することも必要である。現状として、外部指導者の位置付けが曖昧であること及び一流選手との交流の機会が少ないことから、事業を「拡大」すべきと判断した。	①外部指導者は、資格制度を設けるなど選出の基準を明確にし、外部指導者の質の向上を図ってほしい。 ②一流選手との交流の機会の提供については、他団体や協会等との協力体制の構築を図ってほしい。
				拡大	5		
				縮小			
				統合・再編			
				廃止			
	13	学校施設開放事業 スポーツ課 (30,839千円)	維持	維持	5	市民に対するスポーツ活動の場の提供は必要であり、利用者が非常に多いことから有効と判断した。	①不特定多数の人が使用するため、マナーの悪い人への対応など管理の問題を整理し、問題点があれば改善していくべきである。 ②利用料金体系の見直しも検討してほしい。
				拡大			
				縮小			
				統合・再編			
				廃止			

点検日 (点検班)	No.	事業名 担当所属 (22年度決算額)	今後の方向性		評価結果の理由	改善すべき内容等	
			評価結果	評価にかかる 委員数			
10月18日 (2班)	14	姉妹友好都市 青少年交流事業 青少年課 (2,600千円)	統合・再編	維持	2	子供達の文化交流として姉妹友好都市との交流は必要である。しかし、今の事業内容では魅力に乏しくニーズも少ないため、事業内容の再編(見直し)の必要があると判断した。	①目的及びニーズに合った事業内容の検討を行うべきである。 ②毎年同一の団体に事業の実施を行わせることにより、参加者の偏りもみられるため、委託先の検討を行ってほしい。 ③参加した子供達の体験の発表の場を設けるなど、交流の輪が広がるような取組みも検討してほしい。 ④参加した子供達が、リーダーとして交流体験により得られた自主性・積極性を活かせるような次のステップを検討してほしい。
				拡大			
				縮小			
				統合・再編	3		
				廃止			
10月20日 (2班)	15	企画展開催事業 (美術館) 美術館 (44,029千円)	維持	維持	5	優れた芸術文化に触れる機会を提供し、人々に感性・癒しを与える本事業は必要である。また、時代の変化に合わせ、各企画展の有効性を検証している点や、マスコミと連携した事業を展開している点を評価した。	特になし
				拡大			
				縮小			
				統合・再編			
				廃止			
10月20日 (2班)	16	まちなか活性化 交流イベント事業 【樹木イルミネーション事業】 中心市街地振興課 (11,500千円) 【観光開発室】 (15,000千円)	維持	維持	5	現在の電力事情、中心市街地の賑わいの点から事業の有効性について疑問もあるが、中央公園～福井駅前～アップルロードまでの広範囲にわたり回遊性があり、観光産業を誘発する可能性もあることから、事業は継続すべきと判断した。	①人が集まることで事業の有効性が図られることから、更なる市民、企業との連携強化が必要である。特に、地元商店街の協力が不可欠であるため、商店街が参加しやすい企画内容を加えるなどの工夫を行い、更なる連携を図ってほしい。
				拡大			
				縮小			
				統合・再編			
				廃止			
10月20日 (2班)	17	就職支援事業 労政課 (5,053千円)	維持	維持	5	昨今の雇用情勢を考えると、失業対策として本事業は必要である。国・県・民間で行っている類似事業とのすみわけも行っており、求職者の意識の向上、涵養においても有効であると判断した。	①各コースの中で開催されるプログラムの決定について、委託業者に任せるのではなく市も参加すべきである。 ②プログラムについては、雇用企業の声も踏まえて設定してほしい。 ③委託先の選定にあたっては、有識者等による第三者にて選定を行うなど検討を行ってほしい。
				拡大			
				縮小			
				統合・再編			
				廃止			

点検日 (点検班)	No.	事業名 担当所属 (22年度決算額)	今後の方向性		評価結果の理由	改善すべき内容等	
			評価結果	評価にかかる 委員数			
10月26日 (1班)	18	歴史のみえる まちづくり普及事業 歴史のみち整備推進室 (2,000千円)	維持	維持	3	歴史資源を活かした活動の機会を提供すること、特に子供達に福井の歴史に感心をもってもらう観点から有効と判断した。	①「歴史講座」については、類似の事業を様々な機関で行っていることから、福井市ならではの特色を持たせ、新たな市民層を増やす努力が必要である。 ②「子ども歴史クラブ」については、参加した体験等の発表の場を設けるなど、成果を広く活かす工夫が必要である。 ③事業には、子どもの教育、観光、歴史という内容が含まれているので、それぞれの事業の目的を明確にした上で、どの部局で担当するのが効果的かについても検討してもらいたい。
				拡大			
				縮小			
				統合・再編	2		
				廃止			
	19	養浩館 茶席サービス事業 文化課 (1,731千円)	統合・再編	維持	1	養浩館という文化財を活用し、市の文化振興を行うことは理解できるが、市が負担して茶席を設ける必要はない。茶席に限らず、他の文化芸術も含めて活用を検討することが必要ではないかとのことから、事業内容の再編（見直し）が必要と判断した。	①数ある文化芸術の中で茶道文化のみを市が育成するのではなく、文化芸術団体に対し、広く募集を行い、平等に機会を与えるべきである。 ②養浩館が、更に有効活用されるよう検討及び市民への周知に努めてもらいたい。
				拡大			
				縮小			
				統合・再編	3		
				廃止	1		
	20	地域特産物振興事業 農政企画課 (2,340千円)	縮小	維持	1	地域特産物振興の観点からは行政の支援の必要はあるが、事業の展望・効果についての検証も行わないまま、同一品種に対し恒常的に支援を続けることは問題であるため、事業を「縮小」する方向で見直す必要があると判断した。	①対象となる地域特産物の選定理由を明確にするべきである。 ②将来的展望、最終的目標を明確にした上で、支援期間を限定し段階的な削減が必要である。 ③技能の保護・継承を目的とするのであれば、別の部局で支援を検討すべきである。 ④地域特産物の生産技術の継承という目的とするのであれば、若者層への働きかけも検討してもらいたい。 ⑤地域特産物のブランド化、PR活動など、総合的に取組んでももらいたい。
				拡大			
縮小				3			
統合・再編				1			
廃止							